

大原富枝の岡本弥太

企画展

その手紙のなかで、彼は私の小説を
読んだと言いつつ、自分のことを岡本弥太の
と、書いていた。
「眠る女」



大原富枝 20歳



浜田可昌



岡本弥太 赤岡小学校訓導の頃

自伝的長編小説『眠る女』、長編随想『告げる言葉―風のなかのあなたに』において、大原は高知県香我美町出身の詩人・岡本弥太の詩を引用しています。吉野村での結核療養中、叔父のアラウギ派歌人・塩田邦一の薦めで弥太の詩を愛読しており、その詩集はつらい療養生活の大きな慰めとなりました。本企画展では、作品における岡本弥太の意匠を考へるとともに、弥太のご遺族から寄贈された弥太の長女・岡本瑠香宛大原富枝の書簡を公開し、弥太生前唯一の詩集『瀧』をはじめ、彼が関わった詩誌を紹介します。

2017年
9月30日(土)～11月30日(木)

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（祝・祭日の場合は翌日火曜日）

入場料：一般・大学生 300円（240円）

小・中・高校生 100円（80円）

※（ ）内は20名以上の団体割引料金。

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳および被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者（1名）、高知県長寿手帳をお持ちの方は無料です。



■大原文学ミニ講座 9月30日(土)

13:00開演（12:30開場/15:20終了予定）

本山町プラチナセンター（本山町本山569-1）

参加費：無料

講演：「大原富枝の岡本弥太」

高知工業高等専門学校講師 佐藤元紀氏

朗読：『眠る女』より「青く青き子が衿」

高知県立嶺北高等学校生

※要予約 切：9月28日(木)

大原富枝文学館 0887・76・2837まで

■大原富枝の文学散歩 11月25日(土)

高知工業高等専門学校・佐藤元紀先生、北山めぐみ先生と一緒に、富枝ゆかりの地を巡ります。



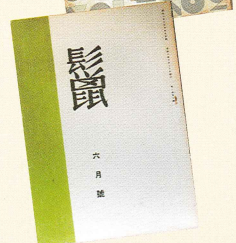
大原富枝文学館

OHARA TOMIE MUSEUM OF LITERATURE

〒781-3601 高知県長岡郡本山町本山568-2

電話/FAX 0887-76-2837

<http://www.town.motoyama.kochi.jp>



主催：大原富枝文学館 本山町教育委員会 本山町

後援：高知県、（公財）高知県文化財団、高知県教育委員会、（公財）高知県観光コンベンション協会、高知新聞社、朝日新聞高知総局、

毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、NHK 高知放送局、RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、KSS さんさんテレビ、KCB 高知ケーブルテレビ、

本山町観光協会（順不同）